

NY マーケットレポート (2017 年 9 月 26 日)

NY 市場では、米国債利回りの上昇が続いたことが影響し、ドル円・クロス円は序盤から堅調な動きとなった。ただ、その後に発表された米新築住宅販売件数、消費者信頼感指数がともに市場予想を下回る結果となったことから、ドルはやや上値の重い動きとなった。そして、注目されたイエレン FRB 議長の講演では、「緩やか過ぎる利上げに当局は注意するべき」とし、「緩和政策の長期化は金融の安定を損ないかねない」と発言したことを受けて、年内の利上げ期待が高まり、ドル買い・円売りが優勢となった。

ただ、12 月の利上げに関して改めて示唆しなかったことや、雇用市場の強さ、インフレを左右する要因に関し、当局が判断を誤った可能性があるとの見方を示したことから、その後はやや上値の重い動きとなった。

2017年 9月26日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	111.76	111.80	111.50
EUR/JPY	132.02	132.53	131.96
GBP/JPY	150.64	150.91	150.20
AUD/JPY	88.52	88.77	88.41
EUR/USD	1.1812	1.1862	1.1811

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	20330.19	-67.39
ハンセン指数	27513.01	+12.67
上海総合	3343.58	+2.03
豪ASX200	5670.98	-12.75
インドSENSEX	31599.76	-26.87

欧州主要株価	終値	前日比
英FT 100	7285.74	-15.55
仏CAC40	5268.76	+1.63
独DAX	12605.20	+10.39

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	22284.32	-11.77
S&P500	2496.84	+0.18
NASDAQ	6380.16	+9.57

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.27	112.47	111.91
EUR/JPY	132.33	132.59	131.90
GBP/JPY	151.04	151.04	150.17
AUD/JPY	88.55	88.60	88.26
EUR/USD	1.1787	1.1810	1.1758

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	15474.12	-42.11
ボルサ指数	50359.47	-8.70
ボベスパ指数	74318.75	-124.73

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1301.70	-9.80
NY 原油	51.88	-0.34

9/27 経済指標スケジュール

10:30 【中国】8月工業利益
 14:00 【日本】9月中小企業景況判断
 15:00 【スイス】8月UBS消費指数
 15:00 【日本】8月工作機械受注
 15:00 【ノルウェー】7月失業率
 15:45 【フランス】9月消費者信頼感指数
 16:30 【スウェーデン】8月貿易収支
 17:00 【スイス】9月クレディスイス景気期待指数
 17:00 【欧州】8月マネーサプライM3
 19:00 【英国】9月CBI流通取引調査
 20:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数
 21:30 【米国】8月耐久財受注
 22:00 【メキシコ】8月貿易収支
 23:00 【米国】8月中古住宅販売成約
 23:30 【米国】EIA原油在庫
 05:00 【ニュージーランド】政策金利発表

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.44%	1.42%
3年債	1.57%	1.56%
5年債	1.86%	1.84%
7年債	2.08%	2.06%
10年債	2.23%	2.22%
30年債	2.77%	2.76%

ドイツ10年債	0.41%	0.40%
英国 10年債	1.33%	1.33%

9/27 主要会議・講演・その他予定

- ・米5年債入札
- ・ブレイナードFRB理事 講演
- ・セントルイス連銀総裁 講演
- ・ボストン連銀総裁 講演

NY 市場レポート

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

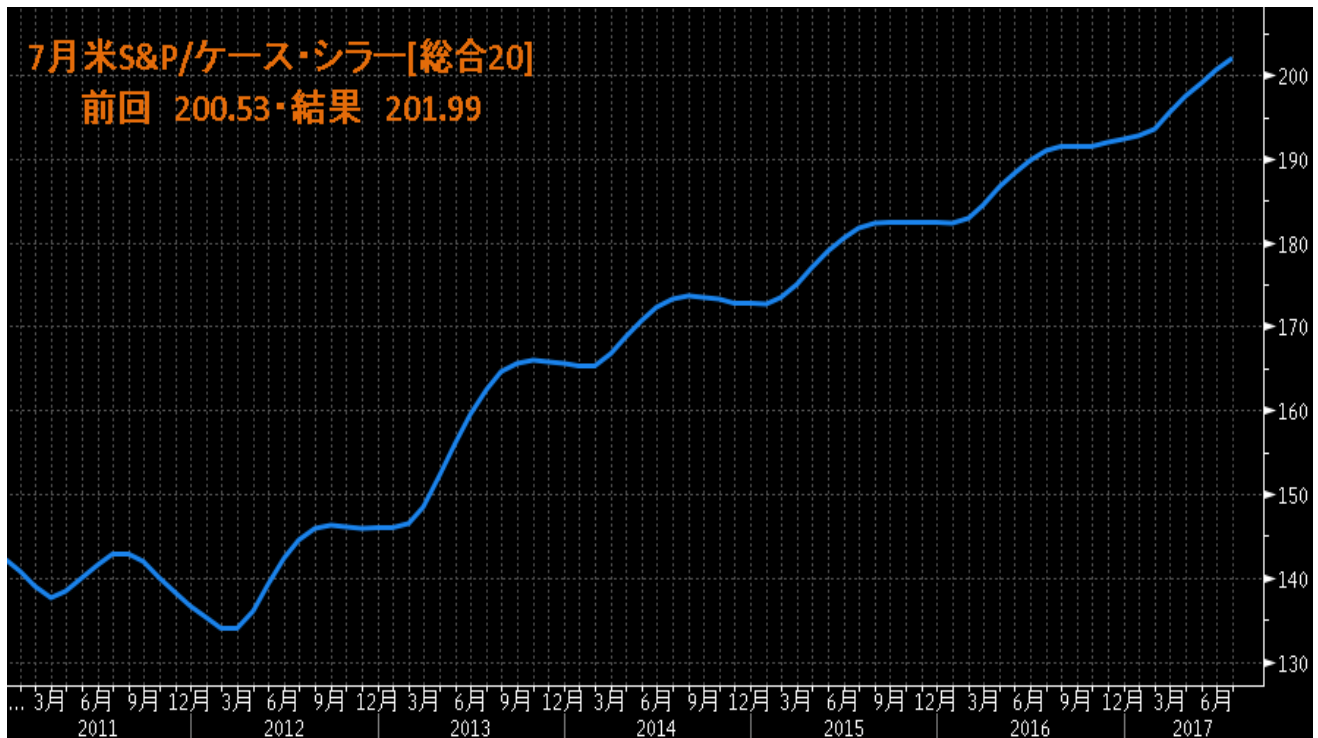
7 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] 201.99 (前回 200.53)

前回発表の 200.54 から 200.53 に修正

7 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前月比) 0.35% (予想 0.20%・前回 0.09%)

前回発表の 0.11%から 0.09%に修正

7 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前年比) 5.81% (予想 5.70%・前回 5.65%)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀ S&P/ケース・シラー住宅価格指数 ▶

(米主要 20 都市) 季調前

	7 月	6 月	5 月	4 月	3 月
指数	201.99	200.53	199.08	197.38	195.50
前月比	0.73	0.73	0.86	0.96	0.99
前年比	5.81	5.65	5.75	5.77	5.95

(米主要 10 都市) 季調前

	7 月	6 月	5 月	4 月	3 月
指数	215.50	213.81	212.43	210.79	209.17
前月比	0.79	0.65	0.78	0.77	0.88
前年比	5.16	4.90	5.01	4.99	5.25

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月米新築住宅販売件数 56.0 万件（予想 58.5 万件・前回 58.0 万件）
 前回発表の 57.1 万件から 58.0 万件に修正

8 月新築住宅販売件数（前月比） -3.4%（予想 2.5%・前回 -5.5%）
 前回発表の-9.4%から-5.5%に修正



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀新築住宅販売▶

8 月・・7 月・・6 月・・5 月・・4 月

販売戸数・・・・56.0・・58.0・・61.4・・60.6・・59.0

前月比 (%)・・-3.4・・-5.5・・1.3・・2.7・・-7.5

(万件)

8 月・・7 月・・6 月・・5 月・・4 月

北東部・・・・・3.8・・3.9・・4.3・・4.3・・3.8

中西部・・・・・6.9・・6.9・・6.4・・6.2・・7.3

南部・・・・・30.7・・32.2・・33.0・・34.3・・33.1

西部・・・・・14.6・・15.0・・17.7・・15.8・・14.8

(万件)

8 月の米新築住宅販売件数は、年率換算で前月比-3.4%の 56.0 万件となり、市場予想を下回り、昨年 12 月以来の低水準となった。前年比では-1.2%だった。販売物件の中間価格は、前月比-6.2%の 30 万 200 ドル、平均価格-0.9%の 36 万 8100 ドル。市場の住宅在庫は、前月比+3.6%の 28.4 万件となり、販売に対する在庫率は 6.1 ヶ月と前月から 0.4 ヶ月上昇、適正水準とされる 6.0 ヶ月を上回った。地域別では、南部が-4.7%、北東部が-2.6%、西部が-2.7%、中西部は横ばいだった。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米消費者信頼感指数 119.8 (予想 120.0・前回 120.4)
 前回発表の 122.9 から 120.4 に修正



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀消費者信頼感指数▶

9月・8月・7月・6月・5月
 信頼感指数・・・119.8・120.4・120.0・117.3・117.6
 現況指数・・・146.1・148.4・145.4・143.9・140.6
 期待指数・・・102.2・101.7・103.0・99.6・102.3

【現況指数】

業況
 良好・・・33.9・34.5・32.5・30.6・29.8
 悪化・・・13.8・13.2・13.5・13.4・13.7
 普通・・・52.3・52.3・54.0・56.0・56.3

【雇用】

十分・・・32.6・34.4・33.2・32.0・30.0
 不十分・・・49.3・47.2・48.1・49.6・51.7
 困難・・・18.1・18.4・18.7・18.4・18.2

【半年先】

業況
 改善・・・20.2・19.8・22.4・20.1・21.5
 悪化・・・9.9・8.0・8.4・10.0・10.3
 横ばい・・・69.9・72.2・69.2・69.9・68.2
 雇用
 改善・・・19.5・16.8・18.5・19.2・18.6
 悪化・・・13.5・13.2・13.2・14.6・12.1
 横ばい・・・67.0・70.0・68.3・66.2・69.3

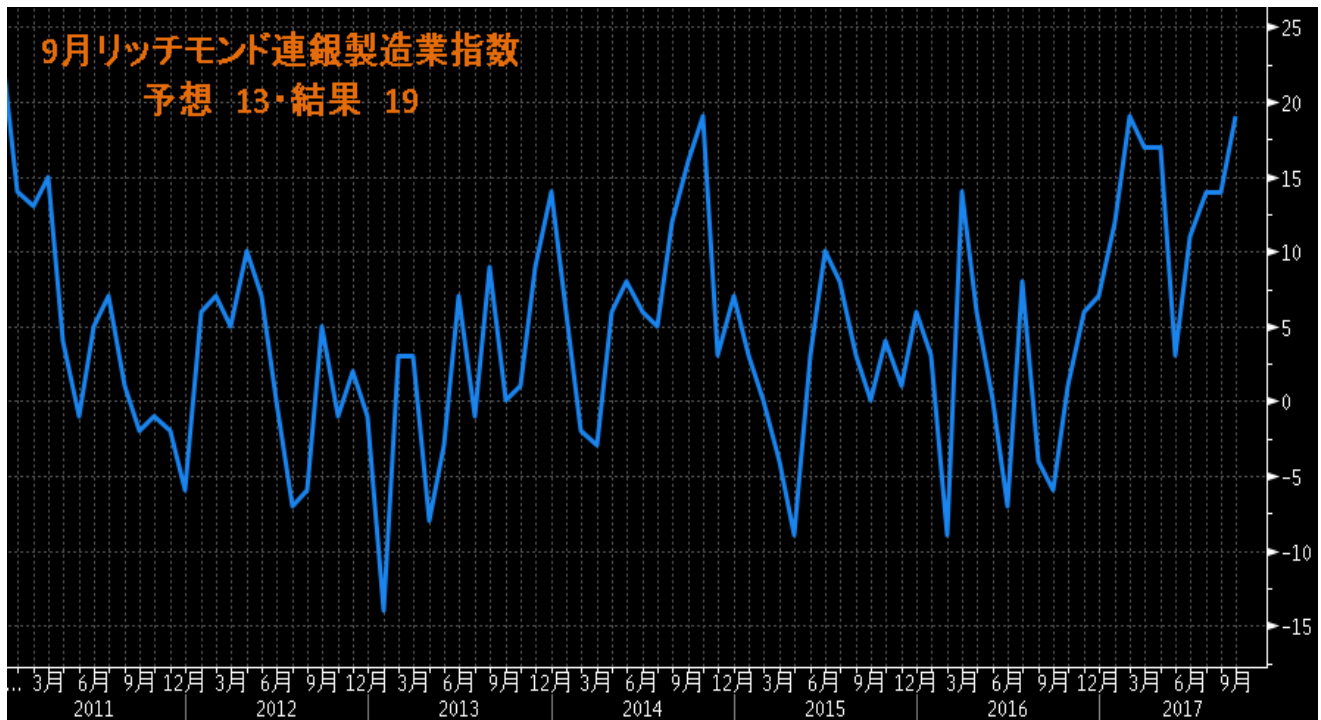
9月の米消費者信頼感指数は、119.8（1985年=100）となり、前月の120.4から0.6ポイント低下し、市場予想も下回った。現況指数は146.1（前月148.4）と低下する一方、期待指数は102.2（101.7）と上昇した。

雇用関連では、現状は「職が豊富」と答えたのは32.6%と前月の34.4%から減少。「就職が困難」も18.1%と前月の18.4%から減少した。向こう半年では「求職が増える」と答えたのは19.5%で前月の16.8%から増加。「求職が減る」も13.5%と前月の13.2%から増加した。向こう1年間のインフレ見通しは4.9%で、前月の4.5%から上昇した。

23:00

《 経済指標の結果 》

9月リッチモンド連銀製造業指数 19（予想 13・前回 14）



出所：Bloomberg

経済指標データ

《リッチモンド連銀製造業指数》

9月・8月・7月・6月・5月

景況指数	19	14	14	11	3
出荷	22	8	13	13	0
新規受注	20	17	18	14	2
受注残	8	11	11	-4	-13
雇用者数	15	17	10	5	7
賃金	17	18	17	10	21

23:15

《 要人発言 》

安倍首相～TVで発言

- ・「消費税、経済状況に関わらず必ず引き上げることではない」
- ・「リーマンショック級の事態が起こらぬ限り消費増税したい」
- ・「消費増税をしなければ政策実現の予算確保はできない（人づくり）」
- ・「消費税は1つの争点だろう（衆院選）」
- ・「黒田日銀総裁はしっかり仕事している」
- ・「日銀総裁人事はまったく白紙、今言うこと控える」
- ・「今までの黒田日銀総裁の仕事は高く評価している」

1:30

《 要人発言 》

ボスティック・アトランタ連銀総裁

- ・「12月の段階で金利を変更しようとする考えについて、現時点で極めて満足している」
- ・「成長の力強い兆しとインフレ加速が引き続き示されれば、利上げを支持する」
- ・「インフレ高進の幾つかの前向きな兆候が見え始めている」

1:35

《 要人発言 》

イエレンFRB議長

- ・「緩和政策の長期化は金融の安定を損ないかねない」
- ・「インフレ2%達成まで政策を据え置くのは賢明ではない」
- ・「時間をかけた小幅利上げがなければ、景気過熱のリスク」
- ・「FOMCは、インフレが2%前後で安定するとお予想」
- ・「労働市場が予想より力強いのかも注視へ」
- ・「中立金利になるまで過剰な引き締めは必要としない」

2:00

《米財務省2年債入札》

最高落札利回り・・・1.462%（前回 1.345%）

最低落札利回り・・・1.345%（前回 1.188%）

最高利回り落札比率・・・45.60%（前回 1.69%）

応札倍率・・・2.88倍（前回 2.86倍）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。ドイツ総選挙で右派政党が躍進したことで欧州の政治リスクが意識され、神経質な取引が続いた。独DAX指数はユーロ安を好感した買いが見られ、小幅高となった。一方、英FT100指数は小幅安で終了した。



出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.34 ドル安の 1 バレル=51.88 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、前日の大幅上昇を受けて、利益を確定させる売りが優勢となった。また、27 日に発表される米石油在庫統計で原油在庫の増加が予想されることも圧迫要因となった。



出所：Bloomberg

《 米株式市場 》

米株式市場は、このところの株価下落を受けて、値頃感の買い戻しの動きが先行した。ただ、米国の税制改革法案の発表を控えて、内容を見極めたいとの思惑もあり、終盤まで上値の重い動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、前日比 73 ドル高まで上昇した。その後は上値の重い動きが続き、マイナス圏まで下落する場面もあった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国債利回りの上昇を受けて、日米の金利差拡大が意識され、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。また、FRB 議長の発言を受けて、米国の年内の利上げ期待が高まったこともドルの押し上げ要因となった。ただ、具体的な利上げに関する発言がなかったことから、やや上値の重い動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。